

2022 年度自己点検評価報告書

仙台 YMCA 国際ホテル専門学校

2023 年 5 月

校長 加藤雄一

gakko@sendai-ymca.org

自己点検評価報告書

1. 学校の教育目標

仙台 YMCA 国際ホテル専門学校は、仙台 YMCA の使命に基づき、以下のように運営方針と教育目標を定めている。

● 仙台 YMCA の使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行ないます。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおり、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

● 学校運営方針

仙台YMCA国際ホテル専門学校は、YMCAの理念に基づき、以下の方針を持って運営を行う。

1. 即戦力として社会のニーズに応える専門性と人間性を持った人材を育てる。(YM-ism の実践)
2. YMCAの4つの価値 Caring (思いやり)、Honesty (誠実さ)、Responsibility (責任感)、Respect (尊敬心) を実践する指導者と学生になる。
3. 学習目標の明確化と目標に向かった指導内容の統一を図る。
4. 産業界との連携を強める。
5. 学生会・校友会・講師親睦会活動を活性化する。
6. 就職指導の徹底と職業意識の向上を図る。
7. 地域や世界に貢献するボランティア活動を行う。

● 教育目標

1. 人と喜びや感動を共有できるホスピタリティマインドを持つ

2. 専門分野の知識、技能の習得
3. YMCAの4つの価値を意識し、どんな場面でも実践する
4. コミュニティに貢献するボランティア精神の習得

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

2022年度は、これまでに引き続き、学生支援環境の整備、安定した運営のための広報の強化、国際おもてなし科の留学生への支援強化を重点に行った。製菓衛生師養成施設を廃止し、商業実務専門課程に特化した学校へ移行していく。また新たな取り組みとして英語力を強化した国際コミュニケーション科設置へ動き出した。(結果的にコロナの影響により、途中で募集を断念した。)

1 学生支援の強化

- (1) 一人ひとりがYMCAの学生としての意識を持つことができる指導内容とする。
- (2) 高い目標を持ち、学生も担任も共に高めあえる雰囲気づくりと行動をする。
- (3) 教育の質を保证する働きを進める。

2 学生募集の強化

- (1) ホームページの内容を充実させる。画像や動画を盛り込んだ内容とする。
- (2) インターネットメディア、ソーシャルメディアを利用した発信を強化する。
- (3) 広報誌を充実させ、定期的に発行する。
- (4) 学校訪問では、在籍生・卒業生情報はもちろんのことYMCAとしての働きを伝えることを心がける。
- (5) 業界に対しても同様に広報し、業界との連携を強める。
- (6) 留学生獲得に向けて日本語学校との連携を強める。

3. 自己点検評価

1 実施方法

- A) 評価は、校長、教員にて行った。
- B) 項目は、『専修学校における学校評価ガイドライン（平成25年3月）』に基づき行った。

2 自己評価の評価

評価は、適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1とした。

3 評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

評価項目	評価（4～1）
理念・目的・育成人材像は定められているか (専門分野における職業教育の特色は何か)	4 3 2 1
学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1

理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが生徒保護者等に周知されているか	4	3	2	1
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4	3	2	1

① 現状

- ・理念・目的・育成像・3つのポリシー等は、学生要綱を利用して学生に対するオリエンテーション時に説明している。教職員に対しては、講師マニュアルを講師会にて説明し学習している。
- ・YMCAの4つの価値を教室に掲示している。
- ・入学時における保護者会にて実務的な連絡以外にも必ず伝え、また学生にはホームルームを利用
- ・新学科開設には至らなかった。
- ・コロナ禍ではあったが、全員が宿泊業での実習を経験することができ、実際の就職に結びついている。
- ・業界への専門性を学ぶ、実践するということができていると思う。また豊かな人となるためのYMCAのプログラムや環境があることは強みの一つではないだろうか。

② 課題

- ・学生に伝えきれていない部分はどのようなことなのかを明確にして、具体的にどう伝える必要があるのかをはっきりさせることが必要なのではないかと感じる。
- ・コロナで学校行事等が極端に少なくなり、保護者に対しての発信が薄くなったと感じる。

③ 今後の改善方策

- ・講師へ共通理解を持つ働きかけを強めること
- ・教務が意識してショートホームルーム等で話す機会を取ること
- ・学生とのコミュニケーションの機会を増やす努力をすること

④ 特記事項

特になし

(2) 学校運営

評価項目	評価（4～1）			
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4	3	2	1
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4	3	2	1
人事、給与に関する制度は整備されているか	4	3	2	1
教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4	3	2	1
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4	3	2	1
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4	3	2	1
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4	3	2	1

① 現状

- ・学校運営方針等は、年度当初の講師会において発表され、共有している。

- ・YMCA の事業方針に基づいた、事業計画を別途作成し、アクションプランを実行している。
- ・事業の内容は、理事会に報告している。
- ・Google システムを利用し IT を活用しながら、情報の共有等が進められている。
- ・事業報告書、財務諸表が適切に公開されている。

② 課題

特になし

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

Google Classroom を活用する講師が増え、ICT 化が進んでいる。

(3)教育活動

評価項目	評価（４～１）			
教育理念等に沿った教育課程の編成実施方針等が策定されているか	4	3	2	1
教育理念, 育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4	3	2	1
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4	3	2	1
キャリア教育実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫開発などが実施されているか。	4	3	2	1
関連分野の企業関係施設等, 業界団体等の連携により, カリキュラムの作成見直し等が行われているか	4	3	2	1
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ, 実技実習等）が体系的に位置づけられているか	4	3	2	1
授業評価の実施評価体制はあるか	4	3	2	1
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
成績評価単位認定の基準は明確になっているか	4	3	2	1
資格取得の指導体制, カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
関連分野における業界との連携において優れた教員（本務兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
関連分野における先端的な知識技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

① 現状

- ・カリキュラムポリシーを設定し、カリキュラム編成が考えられている。
- ・アドミッションポリシーを明確にしている。
- ・シラバスを作成し、授業内容、評価方法等を明確にしている。

- ・学生は、学期ごとに授業評価をし、その結果は、講師にフィードバックされている。
- ・目標とする資格も明確であり、資格取得のために編成されたカリキュラムで行っている。
- ・ホテル現場からの講師を派遣していただいている。

② 課題

- ・シラバス内容の点検も必要である
- ・講師の高齢化

③ 今後の改善方策

- ・カリキュラム検討委員会でシラバス内容を再点検する

④ 特記事項

- ・特になし

(4)学修成果

評価項目	評価（４～１）			
就職率の向上が図られているか	4	3	2	1
資格取得率の向上が図られているか	4	3	2	1
退学率の低減が図られているか	4	3	2	1
卒業生在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	3	2	1
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	4	3	2	1

① 現状

- ・資格取得に特化したカリキュラムがある。
- ・卒業生の活躍を Web サイトなどで公開している。
- ・ホテル科では、進路変更をする学生が増えてしまった。
- ・留学生は、ほぼ進路を決定することができた。

② 課題

- ・ホテル業界への就職率向上

③ 今後の改善方策

- ・ホテル業界の取り組みを学ぶ機会を増やす

④ 特記事項

- 特になし

(5)学生支援

評価項目	評価（４～１）			
進路就職に関する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生相談に関する体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4	3	2	1

課外活動に対する支援体制は整備されているか	4	3	2	1
学生の生活環境への支援は行われているか	4	3	2	1
保護者と適切に連携しているか	4	3	2	1
卒業生への支援体制はあるか	4	3	2	1
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4	3	2	1
高校, 高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4	3	2	1

① 現状

- ・東日本大震災被災者に対する奨学金制度がある。
- ・卒業生の相談には、卒業学年にかかわらず乗ることができている。
- ・Facebook などの SNS を利用して、卒業生への情報提供と求人情報の共有を行っている。
- ・職業理解のための高校内ガイダンスへ協力している。
- ・担任以外でも相談に乗る体制がある。
- ・高等学校において職業理解のための講座を実施している。

② 課題

- ・課外活動が活発ではない

③ 今後の改善方策

- ・卒業生に対する支援体制を検討し整備する。

④ 特記事項

特になし

(6)教育環境

評価項目	評価（４～１）			
施設設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4	3	2	1
学内外の実習施設, インターンシップ, 海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4	3	2	1
防災に対する体制は整備されているか	4	3	2	1

① 現状

- ・Wifi 環境を整備し学生たちがどこでもアクセスできる。
- ・企業と協力したインターンシップができる制度がある。
- ・定期的な避難訓練は実施されている。

② 課題

- ・宿泊部門の実習設備がない

③ 今後の改善方法

- ・企業と連携した授業を導入することでより現場に近い教育が受けられるようにする。

④ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

評価項目	評価（４～１）			
学生募集活動は、適正に行われているか	4	3	2	1
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4	3	2	1
学納金は妥当なものとなっているか	4	3	2	1

① 現状

- ・学生募集活動は適正に行われている。
- ・就職実績や資格取得などの教育成果は、パンフレット等に正確な数値で掲載している。
- ・学納金は、内容、県内同系統の学校と比較しても妥当なものとなっている。
- ・オンラインで説明会を受けられる体制がある。
- ・AO入試もオンラインで面接ができる体制がある。

② 課題

- ・募集に係る人員不足

③ 今後の改善方策

- ・Web 広告活用による広報活動の強化

④ 特記事項

特になし

(8)財務

評価項目	評価（４～１）			
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4	3	2	1
予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4	3	2	1
財務について会計監査が適正に行われているか	4	3	2	1
財務情報公開の体制整備はできているか	4	3	2	1

① 現状

- ・収支予算は、全体計画に基づき適正に作成されている。
- ・会計監査は、適正に行われている。
- ・ホームページにおいて、財務諸表の公開がなされている。
- ・留学生が納入しやすい分納制度を制定した。
- ・学費の支払い方法の選択肢を増やした。

② 課題

- ・留学生の学費が計画的に支払われない。
- ・学生減による減収

③ 今後の改善方策

- ・効果的な広報による学生の獲得と退学者を出さないようにする学生支援体制の確立

④ 特記事項

特になし

(9)法令等の遵守

評価項目	評価（４～１）			
法令, 専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4	3	2	1
個人情報に関し, その保護のための対策がとられているか	4	3	2	1
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4	3	2	1
自己評価結果を公開しているか	4	3	2	1

① 現状

- ・ 専門学校設置基準に従った運営を行っている。
- ・ 個人情報保護方針を設定し、ホームページで公開している。また、職員研修等で内容を教育している。
- ・ 学籍簿等はカギのかかる書庫に入れ保管している。
- ・ 自己評価を公表している。

② 課題

- ・ 特になし

③ 今後の改善方策

- ・ 特になし

④ 特記事項

特になし

(10)社会貢献地域貢献

評価項目	評価（４～１）			
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献地域貢献を行っているか	4	3	2	1
生徒のボランティア活動を奨励, 支援しているか	4	3	2	1
地域に対する公開講座教育訓練（公共職業訓練等）の受託等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

① 現状

- ・ コロナの影響で施設開放ができなかった。
- ・ 学生にはボランティア単位制度を導入して、積極的な参加を進めている。
- ・ 募金活動や国際交流などに学生が参加している。
- ・ 公共職業訓練は、提供できる内容とのマッチングがうまくいかない。

② 課題

- ・ 職業訓練開講を認定されたが、開講できるまでの人数の確保が課題。

③ 今後の改善方策

- ・ 魅力あるカリキュラムの開発

④ 特記事項

(11)国際交流

評価項目	評価（４～１）			
留学生の受入れ派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	4	3	2	1
受入れ派遣, 在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	3	2	1
学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1
学内で適切な体制が整備されているか	4	3	2	1

① 現状

- ・ 外国籍教員が他団体への国際交流への協力を行った。
- ・ 留学生を受け入れる学校として適正であるとの評価を入国管理局から得ている。
- ・ HP に留学生用のページを作成している。
- ・ 留学生対象のガイダンスに参加したり、日本語学校を訪問し、担当職員に説明を行っている。

② 課題

特になし

③ 今後の改善方策

特になし

④ 特記事項

特になし